

## 米国・欧州主要国の景気概況

< 2006年5月号 >

### 【目次】

#### ・ 米国経済

- ・ 景気概況：景気は堅調さを持続 ... p.1
- ・ 米国の1～3月期の実質GDP ... p.2
- ・ 主要経済指標 ... p.3

#### ・ 欧州経済

1. ユーロ圏：景気は回復。先行き利上げの見方が多い ... p.4
2. 英国：景気は緩やかに回復。政策金利は据え置きの見通し ... p.7



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

### 調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

細尾 (E-Mail: hosoo@murc.jp)

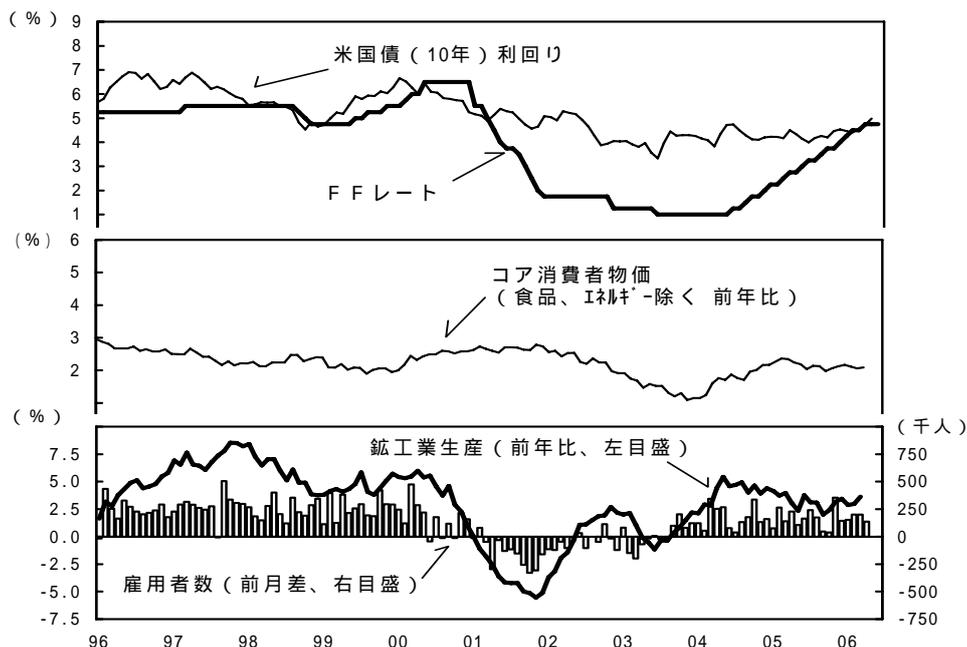
西垣 (E-Mail: hideki.nishigaki@murc.jp)

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

## . 米国経済

**【景気概況】**

- ・米国景気は堅調さを持続している。1～3月期の実質GDP成長率は前期比年率4.8%と2年半ぶりの高い伸びとなった（後述）。
- ・家計部門の指標をみると、4月は非農業部門雇用者数が前月比13.8万人増と雇用の増加ペースがやや弱まったものの、失業率が4.7%と依然として低水準で推移するなど雇用環境は良好である。さらに、3月の個人消費支出は前月比0.6%増と7ヵ月連続で増加した。自動車などの耐久財が持ち直したほか、サービスも堅調であった。住宅着工件数は2ヵ月連続の大幅減となりピークアウト感がみられる。もっとも、住宅投資は前期比プラスで推移しており、減速ペースは緩やかである。
- ・企業部門では、景況感を示すISM景況指数が、4月は製造業が57.3、非製造業が63.0と、景気の拡大・縮小の分岐点となる50の水準を、それぞれ35、37ヵ月連続で上回った。また、設備投資動向を示す資本財出荷（国防関連と航空機を除くコアベース）は電子製品をけん引役に前月比1.9%増と、3ヵ月ぶりの高い伸びを記録した。
- ・物価については、FRB（連邦準備制度理事会）が重視する個人消費支出物価指数（食品とエネルギーを除くコアベース）上昇率が、3月は前年比2.0%となり、FRBが物価安定の目安とする1～2%の範囲の上限に達した。インフレはなお抑制されているとはいえ、原油価格や平均時給の上昇もありインフレ懸念が強まっている。
- ・5月10日に開催されるFOMC（米連邦公開市場委員会）では、FRB（連邦準備制度理事会）がFFレートを0.25%ポイント引き上げ5%とすることが見込まれている。もっとも、その後は利上げをいったん休止するとの見方が広まっている。金融市場では、利上げ休止観測の高まりや、米国の対外不均衡に対する懸念などを背景に、米ドルが主要通貨に対して下落基調で推移しており、4月の米ドルの実質実効為替相場は109.10と、1年1ヵ月ぶりの水準まで下落した。



## 米国の1～3月期の実質GDP

- ・ 米国の1～3月期の実質GDP成長率は前期比年率4.8%と、2003年7～9月期以来、2年半ぶりの高成長を記録した。
- ・ 家計部門の内訳をみると、個人消費は前期比年率5.5%増と2年半ぶりの高い伸びとなった。耐久財が同20.6%と急増したことが主因であるが、これは、大手自動車メーカーの値引きキャンペーン終了により昨年10～12月期に大幅減となった反動増による。もっとも、非耐久財が同5.4%増と2期連続で拡大したほか、サービスも同2.8%増と2期ぶりに拡大しており、消費は好調に推移している。一方、住宅投資は同2.6%増と、住宅市場の減速傾向を反映して3期連続で鈍化した。ただし、前期比プラスは維持しており、住宅投資の減速ペースは緩やかなものにとどまっている。
- ・ 企業部門では、民間設備投資が前期比年率14.3%増と、IT景気の2000年4～6月期以来約6年ぶりの高い伸びを記録した。およそ8割のウエイトを占める機械・ソフトウェア投資が6年ぶりの高い伸びとなった（同16.4%増）ほか、2割程度を占める構築物投資も、商業用不動産市場の好調を背景に約3年ぶりの高い伸び（同8.7%増）を記録した。一方、在庫投資は2期連続でプラス（＝在庫積み増し）だったものの、プラス幅は前期と比べ縮小し、成長率全体への寄与度は0.6%ポイントとなった。
- ・ 4～6月期以降については、1～3月期の高成長が個人消費の反動増によるところが大きく、巡航速度（3%台半ば）に回帰することが見込まれるため、成長率自体も低下する見通しである。
- ・ 下ぶれリスクとしては、原油価格の上昇や住宅市場の減速などを背景とした個人消費の鈍化が考えられるが、住宅投資の減速ペースは、これまでのところ緩やかにとどまっている。逆に、上ぶれリスクとしては、FRBの金融政策がこれまでと同様に成果を収め、インフレを抑制するケースが考えられる。インフレ抑制により、家計の実質所得低下や企業のコスト上昇を回避できれば、個人消費の好調を背景とした企業収益の拡大が、雇用の増加を通じて個人消費の好調を持続させる好循環をもたらし、年後半にかけても息の長い景気拡大が続くことになろう。

図表．米国の実質GDPの推移

	2004	2005	2005				2006
			1-3	4-6	7-9	10-12	
実質GDP	4.2	3.5	3.8	3.3	4.1	1.7	4.8
個人消費	3.9	3.6	3.5	3.4	4.1	0.9	5.5
住宅投資	10.3	7.2	9.5	10.8	7.3	2.8	2.6
設備投資	9.4	8.5	5.7	8.8	8.4	4.5	14.3
在庫投資	0.4	0.3	0.3	2.2	0.4	1.8	0.6
政府支出	2.2	1.7	1.9	2.5	2.9	0.8	3.9
純輸出	0.8	0.3	0.4	1.1	0.1	1.3	0.8
輸出	8.4	6.7	7.5	10.7	2.5	5.0	12.1
輸入	10.7	6.2	7.4	0.2	2.4	12.1	13.0

（注） 前期比年率の値。ただし、在庫投資、純輸出は寄与度。  
（出所） 米商務省

## 【米国経済指標】

景気	経済指標	2004	2005	05/3Q	05/4Q	06/1Q	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4
全般	実質GDP(前期比年率)	4.2	3.5	4.1	1.7	4.8	-	-	-	-	-
	I S M製造業指数	60.5	55.5	56.0	57.0	55.6	55.6	54.8	56.7	55.2	57.3
	I S M非製造業指数	62.5	60.1	59.6	59.8	59.1	61.0	56.8	60.1	60.5	63.0
	景気先行指数(CI)	7.4	2.3	0.4	1.0	0.6	0.3	0.4	-0.5	-0.1	
	企業収益(税引前)	13.0	35.8	-1.4	12.7		-	-	-	-	-
個人消費	消費者信頼感指数(1985=100)	96.1	100.3	98.9	95.8	105.7	103.8	106.8	102.7	107.5	109.6
	小売売上高	6.2	7.2	2.1	0.5	3.2	0.4	3.0	-0.8	0.6	
	同(乗用車を除く)	7.2	8.2	2.3	1.9	2.7	0.2	2.7	-0.3	0.4	
	自動車販売台数(年率、100万台)	16.83	16.87	17.92	15.85	16.89	17.15	17.58	16.55	16.54	
	名目可処分所得	6.1	4.3	0.6	2.4	1.3	0.5	0.5	0.2	0.4	
設備投資	個人貯蓄率	1.7	-0.4	-1.6	-0.2	-0.7	-0.3	-0.6	-0.6	-0.8	
	コア資本財出荷	11.6	10.3	0.8	3.7	2.9	3.8	0.0	-0.5	1.9	
	同(前年比)			7.6	8.7	7.9	8.4	6.1	7.7	10.0	
住宅投資	コア資本財受注	9.5	10.7	1.0	2.9	4.2	4.9	0.0	-0.6	3.9	
	情報機器出荷	12.2	9.4	0.7	2.6	1.5	2.2	0.1	-0.1	-0.3	
	新設住宅着工戸数(年率、万戸)	195.0	207.2	210.1	205.9	213.1	198.9	230.7	212.6	196.0	
輸出	同(前年比)	5.2	6.3	6.4	4.3	2.3	-3.0	5.4	-4.6	6.9	
	着工許可	5.7	3.1	2.9	-2.9	2.3	-4.1	6.8	-1.7	-3.9	
	セラス <sup>1</sup> -ス名目	13.0	10.5	0.8	2.9		2.7	2.8	-1.4		
供給	セラス <sup>1</sup> -ス実質	9.1	7.0	0.3	2.4		3.1	2.2	-1.4		
	I S M輸出向け受注指数	57.2	55.6	55.9	55.8	57.6	54.3	58.5	57.0	57.3	53.4
	鉱工業生産	4.1	3.2	0.3	1.3	1.1	1.0	-0.4	0.5	0.6	
雇用	同(前年比)			2.7	3.0	3.2	3.5	2.9	3.0	3.6	
	設備稼働率(%)	78.6	80.0	79.8	80.5	81.0	81.1	80.7	81.0	81.3	
	企業在庫率	1.31	1.28	1.27	1.27		1.26	1.25	1.26		
	非農業部門生産性	3.4	2.7	4.2	-0.3	3.2	-	-	-	-	-
	失業率(%)	5.5	5.1	5.0	4.9	4.7	4.9	4.7	4.8	4.7	4.7
輸入	雇用者増(非農業)(千人)	175	165	155	179	185	145	154	200	200	138
	同(製造業)(千人)	0	-6	-15	12	2	8	5	-1	1	19
	同(人材派遣)(千人)	13	14	21	18	-5	12	-23	-4	10	-1
国際収支	労働投入量(民間)	1.6	2.4	0.6	0.5	0.7	0.2	0.3	0.2	0.2	0.5
	セラス <sup>1</sup> -ス名目	16.9	13.7	3.1	5.1		1.9	3.9	-3.0		
	セラス <sup>1</sup> -ス実質	11.4	6.4	0.4	3.7		2.4	2.9	-2.7		
物価	同(前年比)			5.0	5.6		6.8	7.4	4.2		
	経常収支(10億ドル)	-668.1	-804.9	-185.4	-224.9		-	-	-	-	-
	貿易収支(セラス、10億ドル)	-650.9	-766.4	-193.3	-208.4		-68.7	-72.3	-68.9		
財政	貿易収支(BOP、10億ドル)	-617.6	-723.6	-181.4	-197.4		-65.1	-68.6	-65.7		
	生産者物価(最終財)	3.6	4.9	1.6	1.8	-0.2	0.8	0.3	-1.4	0.5	
	消費者物価(コア)	1.8	2.2	0.4	0.6	0.6	0.1	0.2	0.1	0.3	
	同(前年比)			2.1	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	
	コアPCE物価指数(前年比)	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9	2.0	1.9	1.8	2.0	
	雇用コスト(民間・未値)	3.9	2.8	0.8	0.8		-	-	-	-	-
	時間給	2.1	2.8	0.8	0.9	1.0	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5
金融	同(前年比)			2.8	3.1	3.5	3.2	3.3	3.5	3.6	3.8
	I S M仕入価格指数	79.8	66.4	63.0	73.7	64.7	63.0	65.0	62.5	66.5	71.5
	財政収支(10億ドル)	-412.8	-318.5	-69.0	-39.8	-61.2	11.0	21.0	-119.2	-85.5	
市場データ	M2(前期比年率)	4.5	4.2	4.4	5.2	6.8	5.2	11.8	4.2	3.1	
	国際証券投資(ネット、10億ドル)	763.6	889.2	255.6	248.7		53.8	69.1	86.9		
	F Fレート(実効レート、%)	1.35	3.21	3.46	3.97	4.46	4.16	4.29	4.49	4.59	4.77
	10年物国債利回り(未値、%)	4.24	4.39	4.34	4.39	4.86	4.39	4.53	4.55	4.86	5.07
	N Yダウ指数(未値)	10,783	10,718	10,569	10,718	11,109	10,718	10,865	10,993	11,109	11,367
市場データ	ドル実効レート(Broad, 97.1=100)	113.59	110.81	111.14	112.00	110.42	111.79	110.18	110.46	110.63	109.83
	同(前年比)	-4.6	-2.5	-3.2	1.3	0.9	2.7	0.7	0.7	1.4	-0.1
	JOCインデックス	112.93	114.16	113.62	118.12	120.80	117.54	120.34	121.86	120.19	

(注1) 原則として数字は季節調整済前期比(%)。  
 (注2) 雇用者増減数の年計数および四半期計数は月平均ベースに換算。  
 (注3) 10年債利回りはコンスタント・マチュリティー・ベース(FRB)  
 (注4) 財政収支の年次は会計年度(前年10月~当年9月)  
 (注5) 米商務省、米労働省、F R B、コンファレンス・ボード資料などより作成。

## ．欧州経済

## 1．ユーロ圏

- ・ 景気は回復している。2005年10-12月期の実質GDP成長率（2次速報）は前期比ベースで0.3%と前期から鈍化したものの、前年比ベースでは1.8%と前期から加速した。
- ・ 家計部門をみると、3月の失業率が8.1%と前月から低下するなど、雇用環境は改善している。小売売上高（数量）は3月前年比0.2%減と前年水準を下回ったものの、変動の大きい食料品等を除いたベースでみると、前年水準に比べて増加している。
- ・ 企業部門についても、輸出の拡大などを背景に回復傾向にある。2月の鉱工業生産は、資本財や非耐久消費財が拡大し、前年比3.2%増と2ヵ月連続で伸びが高まった。また、4月のユーロ圏景況指数は105.3と5ヵ月連続して上昇した。
- ・ 物価動向をみると、消費者物価上昇率は4月前年比2.4%と、前月から伸びが高まった。消費者物価上昇率はECBが目標とする2%水準を上回る水準が続いている。
- ・ ECB（欧州中央銀行）は5月4日の定例理事会で、短期レポ金利を2.5%に据え置くことを決定したが、市場では6月に利上げが実施されるとの見方が多い。

【ユーロ圏の主要経済指標】

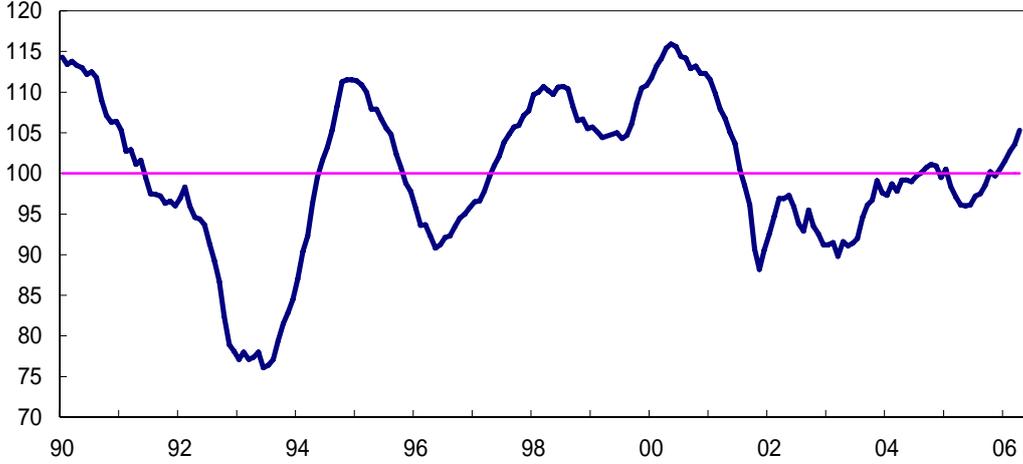
		経済指標													
		03	04	05	05/	05/	05/	06/	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4		
全般	実質GDP* （上段：前期比）				0.4	0.7	0.3		-	-	-	-	-		
					1.2	1.6	1.8		-	-	-	-	-		
	（下段：前年比）	0.7	1.8	1.4											
	OECD景気先行指数	1.8	4.2	1.0	0.2	0.8	2.0		2.4	2.8	3.4				
	景況指数（95=100）*	93.6	99.4	98.1	96.1	97.7	100.1	102.6	100.5	101.5	102.7	103.6	105.3		
景気	消費	消費者信頼感指数*	-18	-14	-14	-14	-15	-12	-11	-10.8	-10.7	-10.1	-10.7	-10.1	
		小売売上数量* （上段：指数）	102.7	105.2	106.7	104.5	106.9	107.3	107.3	107.2	107.7	107.6	106.7		
		（下段：前年比）	0.4	1.4	1.4	0.8	1.4	1.3	0.8	0.9	1.4	1.4	-0.2		
	需要サイド	新車登録	-18.3	2.5	0.7	3.0	3.8	-2.9	5.4	-5.7	6.2	2.8	6.7		
		建設業	-0.1	-0.2	-0.2	-0.2	1.0	1.5		-	-	-	-	-	
		建設業信頼感指数*	-18	-14	-9	-11	-9	-5	-4	-6.0	-3.7	-5.0	-3.2	-3.1	
	輸出	域外輸出金額	-2.3	8.9	7.2	6.1	9.9	9.4		10.8	14.3	14.1			
		域外輸出数量*	1.1	8.2	4.9	3.1	7.9	6.5		8.7					
	供給サイド	生産	鉱工業景況*	-11	-5	-7	-10	-8	-6	-2	-4.9	-4.2	-2.3	-0.8	1.0
			鉱工業生産* （上段：指数）	100.3	102.2	103.5	103.1	104.0	104.6		105.2	105.5	105.5		
		（下段：前年比）	0.3	1.9	1.3	0.7	1.5	2.1		2.9	3.0	3.2			
製造業生産*		0.1	1.9	1.4	0.5	1.6	2.3		2.5	2.1	3.3				
設備稼働率（%）*		81.0	81.5	81.2	81.1	81.0	81.1	82.0	-	-	-	-	-		
雇用	雇用者数	0.3	0.7		0.8	0.8			-	-	-	-	-		
	失業率（%）*	8.7	8.9	8.6	8.6	8.5	8.3	8.2	8.3	8.2	8.2	8.1			
輸入	域外輸入金額	0.5	9.4	12.2	10.7	14.4	14.9		18.0	22.9	22.1				
	域外輸入数量*	3.8	5.8	4.5	3.9	4.9	6.0		9.6						
国際収支	経常収支（10億euro）	33.8	45.7	-27.8	-13.6	-3.8	-12.3		0.7	-9.7	-1.8				
	貿易収支（10億euro）	69.6	71.5	23.3	11.2	7.6	-1.8		-0.7	-9.5	-3.1				
物 価	生産者物価	1.4	2.3	4.1	3.9	4.2	4.4	5.2	4.7	5.3	5.4	5.1			
	消費者物価	2.1	2.1	2.2	2.0	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.2	2.4		
	消費者物価（コア）	1.8	1.8	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3			
金 融	マネーサプライ(M3)	8.1	5.8	7.4	7.3	8.1	7.7	7.9	7.5	7.6	7.8	8.4			
	3ヶ月物銀行間金利（%）	2.33	2.11	2.19	2.13	2.13	2.34	2.61	2.5	2.5	2.6	2.7			
	10年物国債金利（%）	4.16	4.14	3.44	3.41	3.27	3.42	3.56	3.4	3.4	3.6	3.7			
	株価（DJ Euro Stoxx）	213.3	251.1	293.8	280.1	303.4	315.2	347.6	325.7	335.5	349.0	358.0	362.3		
	為替相場（ドル/ユーロ）	1.13	1.24	1.24	1.26	1.22	1.19	1.20	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2		
	名目実効相場	12.4	4.1	-1.4	0.7	-1.6	-5.1	-4.8	-6.6	-4.8	-4.7	-4.9			
	短期レポ金利（期末値）	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.25	2.50	2.25	2.25	2.25	2.50	2.50		

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比；%、\*は季調値。

< グラフで見るユーロ圏景気 >

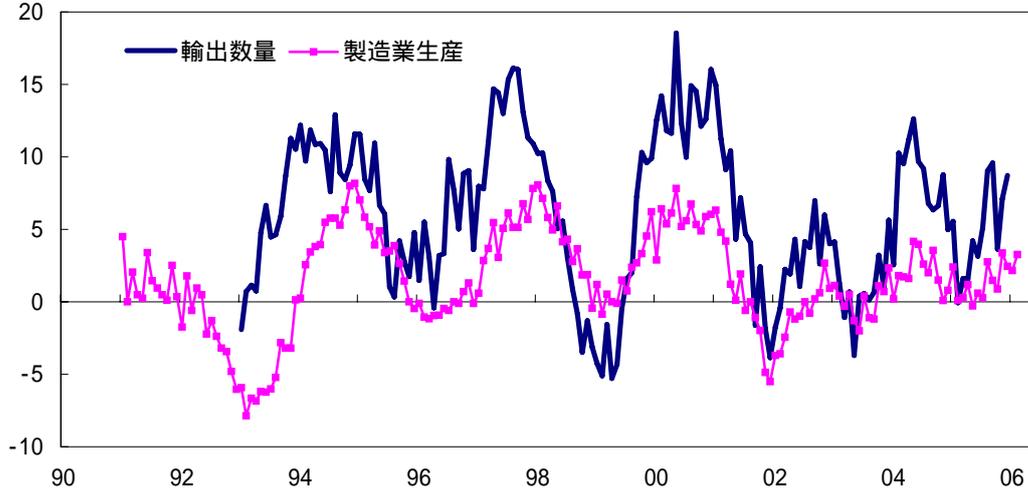
(長期間の平均 = 100)

ユーロ圏: 景況指数



(前年比, %)

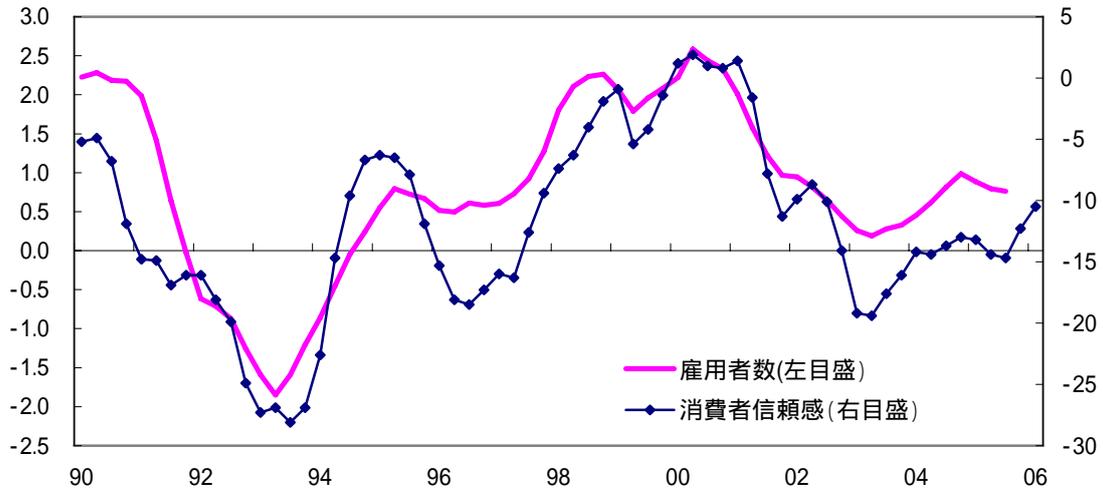
ユーロ圏: 輸出と生産



(前年比, %)

ユーロ圏: 雇用と消費者信頼感

(%)



(出所) Datastream

## &lt; ユーロ圏主要国の経済指標 &gt;

## 【ドイツの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	06/1	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.3	0.6	0.0		-	-			
(下段: 前年比)	-0.2	1.1	1.1	0.8	1.5	1.6		-	-			
OECD景気先行指数	2.3	5.3	1.1	-0.5	1.0	3.0		3.7	4.6	5.9		
IFO企業景況指数	91.8	95.4	95.5	93.0	95.4	98.7	103.5	99.6	101.8	103.4	105.4	105.9
鉱工業生産* (上段: 前期比)	99.5	102.5	106.0	1.1	1.4	1.4		0.5	0.8	1.0		
(除く建設) (下段: 前年比)	0.4	3.0	3.4	4.6	3.3	3.8		4.9	7.9	6.5		
製造業受注*	0.7	6.1	6.2	3.1	7.4	9.5		5.5	10.9			
国内*	0.0	3.9	3.0	2.4	4.6	3.7		-0.2	5.7			
海外*	1.5	8.8	9.6	4.0	10.5	15.8		11.5	16.2			
設備稼働率(%)*	82.7	84.1	83.4	83.0	83.3	84.4		-	-	-	-	-
建設*	-4.4	-5.5	-5.3	-5.1	-2.9	-1.3		-1.6	-9.2	3.6		
建設業信頼感指数*	-49	-48	-42	-44	-40	-35	-29	-36	-33	-29	-26	-20
消費者信頼感指数*	-19	-16	-14	-15	-15	-10	-7	-8	-6	-7	-8	-6
小売売上数量(除く自動車)*	-0.4	1.5	1.9	2.6	1.8	0.8	0.2	0.7	1.7	0.9	-2.2	
新車登録	-0.5	0.9	1.7	6.2	5.1	-2.8	6.2	-8.5	11.3	-1.3	8.0	-7.9
賃金(月給、全産業)	2.1	1.3	1.0	1.1	1.0	0.8		1.0	1.0	1.6		
就業者数*	-0.9	0.4	-0.3	-0.3	-0.4	-0.4		-	-	-	-	-
失業者数(千人)*	4383	4389	4861	4944	4855	4730	4711	4642	4703	4701	4731	4691
失業率(%)*	10.5	10.8	11.2	11.9	11.6	11.2	11.4	11.2	11.3	11.3	11.4	11.3
旧西(%)*	8.4	8.7	9.5	10.0	9.9	9.5	9.7	9.5	9.6	9.6	9.7	9.6
旧東(%)*	18.3	18.9	17.7	19.0	18.3	17.7	18.1	17.7	18.0	18.0	18.1	17.9
輸出金額*	1.9	8.9	7.8	4.7	9.7	9.9		11.7	10.3	17.7		
輸入金額*	3.0	6.6	9.0	8.1	9.1	11.8		17.5	15.3	24.2		
生産者物価(鉱工業)	1.7	1.6	4.6	4.5	4.7	4.9	5.7	5.2	5.6	5.9	5.9	
消費者物価	1.1	1.6	2.0	1.7	2.2	2.2	2.0	2.1	2.1	2.1	1.8	2.0
10年物国債金利(%)	4.09	4.06	3.38	3.34	3.19	3.36	3.49	3.37	3.34	3.48	3.66	3.92
DAX株価指数	3198.3	3983.3	4678.1	4399.1	4855.4	5133.1	5706.7	5346.6	5494.0	5762.5	5861.7	6000.9

## 【フランスの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	06/1	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.1	0.7	0.4		-	-			
(下段: 前年比)	0.9	2.1	1.4	1.0	1.7	1.5		-	-			
OECD景気先行指数	0.8	5.7	0.7	-0.2	-0.2	1.4		1.7	1.9	2.1		
INSEE企業生産見通しDI*(%)	-29	5	-12	-23	-19	-4	-3	-3	-2	-4	-2	2
企業収益(10億euro、年率)*	526	553						-	-	-	-	-
鉱工業生産* (上段: 指数)	99.5	101.2	101.3	101.0	101.4	101.0		101.8	102.1	101.2		
(除く建設) (下段: 前年比)	-0.4	1.7	0.1	-0.3	0.4	-0.8		-0.5	0.0	-0.6		
製造業稼働率(%)	84.8	84.1	83.2	84.6	82.5	81.8	83.6	-	-	-	-	-
建設*	0.4	1.9										
建設業信頼感指数*	-8	3	9	7	8	12	15	10	15	14	15	12
消費者信頼感指数*	-24	-14	-16	-19	-15	-16	-15	-16	-15	-13	-16	-15
小売売上数量* (上段: 指数)	105.3	113.2	114.7	113.9	115.2	115.9		115.6	115.8	116.3		
(下段: 前年比)	1.0	3.2	1.3	0.6	1.6	1.6		0.6	1.5	2.4		
新車登録	-6.3	0.2	2.7	7.2	2.4	-3.2	0.1	-1.4	2.7	0.6	-2.5	-6.7
家計工業品消費(除く自動車)*	1.8	3.2	3.0	1.7	4.4	2.4	3.2	2.0	2.0	4.0	3.5	
就業者数*	-0.4	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3		-	-	-	-	-
失業者数(千人)*	2763	2746	2622	2732	2673	2622	2583	2622	2628	2613	2583	
失業率(%)*	10.0	10.0	9.5	10.1	9.8	9.6		9.6	9.6	9.6		
輸出金額*	-2.5	5.7	4.7	3.3	5.4	5.7		10.7	7.8	9.7		
輸入金額*	-0.9	7.6	9.6	9.0	8.3	9.6		10.5	12.8	10.5		
生産者物価(鉱工業中間財)	0.9	2.1	3.0	2.9	3.1	3.0	3.6	3.2	3.8	3.6	3.3	
消費者物価	2.1	2.1	1.7	1.6	1.9	1.6	1.8	1.5	2.0	1.9	1.5	
10年物国債金利(%)	4.13	4.10	3.40	3.37	3.21	3.39	3.51	3.37	3.34	3.49	3.69	3.95
CAC40株価指数	3119.1	3685.3	4269.5	4091.1	4434.7	4571.0	4978.1	4703.2	4839.7	4976.6	5111.9	5180.0

## 2. 英国

- ・英国では、2006年1-3月期の実質GDP成長率（速報値）が前期比0.6%と前期と同じ伸びとなるなど、景気は緩やかに回復しているが、足元の経済指標は弱い。
- ・家計部門では、3月は失業率が3.0%と前月から上昇するなど、雇用環境が悪化した。こうしたなか、個人消費は新車登録が4ヵ月連続で前年水準を割り込むなど、低調である。企業部門については、輸出が2桁増を続けているものの、製造業生産は2月が前年比1.4%減と引き続き前年水準を下回った。
- ・物価動向をみると、3月の消費者物価上昇率は前年比1.8%と、BOE（イングランド銀行）の目標値（同2.0%）を下回った。一方、4月の住宅価格指数上昇率は前年比8.1%と、前月から一段と加速した。
- ・BOEは、4月6日に開かれた金融政策委員会（MPC）で、政策金利を現行水準（年4.5%）に据え置くことを決定した。据え置きは2005年9月以来8ヵ月連続。市場では経済指標が一様でないことなどから、当面据え置きが続くとの見方が多い。

## 【英国の主要経済指標】

		03	04	05	05/	05/	05/	06/1	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4
全般	実質GDP（上段：前期比）				0.5	0.5	0.6	0.6	-	-	-	-	-
	（下段：前年比）	2.5	3.1	1.8	1.6	1.9	1.8	2.2	-	-	-	-	-
	CBI企業先行き見通し(%)	-17	7	-19	-15	-16	-21	-14	-	-	-	-	-
	OECD景気先行指数	-0.7	2.8	-0.8	-1.3	-0.2	-0.6		-0.5	-0.3	-0.2		
	企業収益（税引き前）	7.7	7.3	0.4	1.1	-2.3	-0.7		-	-	-	-	-
景気 需要サイド	消費												
	消費者信頼感指数*	-6	-3	-2	-2	-2	-4	-4	-4	-4	-2	-6	-3
	小売売上*	3.3	6.0	2.0	1.5	0.8	2.7	1.7	4.6	1.0	1.6	2.6	
	新車登録	0.6	-0.5	-5.0	-4.1	-4.0	-4.0	-4.6	8.7	-13.3	-1.4	-1.6	-9.1
	投資												
	住宅着工	7.2	10.1		2.2				-	-	-	-	-
	新規建設工事受注*	-4.6	7.2	5.3	8.9	8.7	7.3		6.6	27.5	-6.1		
輸出													
輸出*	1.1	1.2	10.1	10.9	11.6	11.4		11.1	16.7	22.2			
CBI輸出受注評価	-33	-13	-20	-19	-20	-21	-13	-23	-10	-17	-12	-13	
供給サイド	生産												
	製造業生産*	0.1	1.7	-1.2	-1.5	-0.4	-2.3		-2.2	-1.5	-1.4		
	CBI能力以下操業割合	70	60	58	60	54	60	62	-	-	-	-	-
	CBI最終品在庫水準評価	17	11	15	17	17	15	16	17	19	13	17	7
雇用													
就業者数*	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9	0.6		-	-	-	-	-	
失業率(%)*	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0		
輸入													
輸入*	1.2	6.3	9.7	8.1	11.5	10.7		13.3	18.1	20.3			
国際収支	経常収支（10億£）	-16	-24	-32	-1	-11	-11		-	-	-	-	-
	貿易収支（10億£）*	-48	-60	-66	-16	-17	-17		-6	-7	-6		
物価	製造業生産者物価	1.5	2.5	2.8	2.8	3.1	2.5	2.8	2.4	2.9	2.9	2.5	
	消費者物価	1.3	1.4	2.1	2.0	2.4	2.1		2.0	1.9	2.0	1.8	
	ハリファクス住宅価格指数	18.9	18.8	5.4	3.8	3.1	5.1	6.3	5.2	5.2	5.6	6.3	8.1
	単位労働コスト*	3.2	2.2	3.6	3.6	4.1	2.9		-	-	-	-	-
	平均実収	3.4	4.4	4.0	4.0	4.1	3.6		4.2	3.1	5.3		
金融	マネーサプライ(M4)	7.2	8.8	12.6	10.3	11.1	12.5	12.1	12.6	12.1	12.3	12.1	
	3ヶ月物銀行間金利(%)	3.69	4.59	4.70	4.84	4.56	4.56	4.54	4.58	4.55	4.53	4.55	4.59
	10年物国債金利(%)	4.47	4.86	4.41	4.43	4.26	4.29	4.19	4.22	4.08	4.17	4.32	4.52
	株価（FT100）	4051	4522	5159	4956	5311	5436	5820	5552	5707	5807	5939	6052
	為替相場（ドル/£）	1.63	1.83	1.82	1.86	1.78	1.75	1.75	1.75	1.77	1.75	1.74	1.77
	実効相場（90=100）	100.2	104.1	103.3	104.3	103.0	103.2	102.5	103.3	102.7	102.8	102.1	101.9
	実効相場（前年比）	-5.5	3.9	-0.7	-0.9	-1.7	0.8	-0.3	0.2	0.6	-0.4	-1.1	-2.4

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比；%、\*は季調値。